

2026秋冬

大阪大学 高校生のための 人文・社会科学系講義

10/30(金)締切!

参加者募集!!※先着15名

2026年12月6日(日)12時～16時 開催!!

※11時半～受付開始

講義1 「刑務所で出会った受刑者のみなさんに学ぶ」

村上 靖彦

大阪大学 大学院人間科学研究科 教授

講義2 「あなたの〇〇のお値段、いくらですか？」

木下 岳人

大阪大学 大学院高等司法研究科 准教授

見学会 懐徳堂旧址碑・適塾 宇野田 尚哉

大阪大学 大学院人文学研究科 教授

大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 副拠点長

※講義後に移動して見学し、現地解散します。



参加方法：高校生を対象として参加者募集。

←Formsよりお申込みください。(先着順15名程度)

(<https://forms.cloud.microsoft/r/cfUcSsAbP1>)

※ただし参加者が特定の高校に偏らないよう調整させていただきます。

※締切は10/30(金)ですが、応募が定員を超え次第、募集を締切とさせていただきますのでお早めにお申し込みください。ご参加の可否が決まりましたが、後日ご連絡いたします。

※申込者1名につきお一人の同伴者を受け付けますので、ご家族・ご友人などとお誘いあわせのうえお申込みください。

会 場：大阪大学中之島センターセミナー室7A ※京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分

費 用：無料 ※ただし、見学会場までの移動に係る経費(230円)は自己負担
(京阪中之島駅～大江橋駅)



大阪大学グローバル日本学教育研究拠点

The University of Osaka Global Japanese Studies Education and Research Incubator

「日本」に関わる教育・研究の領域において全国有数の人的リソースを擁する大阪大学では、人文・社会科学系の諸部局を横断するかたちでグローバル日本学教育研究拠点を設置し、当該領域の教育・研究の学際的・国際的・社会学連携的展開に努めています。

このたび、本拠点では、本学人文・社会科学系の研究成果を日本社会、とりわけ次代を担う若い人びとに向けて還元すべく、「高校生のための大阪大学人文・社会科学系講義」を開講することといたしました。

大阪大学の知的背景を知っていただきつつ、最先端の研究成果に触れていただく機会として、下記の先生方の講義と見学会を準備いたしました。奮ってご参加ください！

講師紹介

村上 靖彦

大阪大学 大学院人間科学研究科 教授



パリ第7大学で博士号取得（基礎精神病理学・精神分析学博士）。大阪大学感染症総合教育研究拠点CIDER兼任教員。専門は哲学および現象学的な質的研究。現在は主に医療・福祉現場で調査を実施。病障害、貧困、差別といった逆境の中にある個人の経験を研究している。著書に『在宅無限大 訪問看護師が見た生と死』（医学書院2018）、『子どもたちが作る町 大阪・西成の子育て支援』（世界思想社2021）、『ケアとは何か 看護・福祉で大事なこと』（中公新書2021）、『客観性の落とし穴』（ちくまプリマー新書2023）、向谷地生良との共編著に『刑務所で当事者研究をやってみた』（医学書院2026）他。

木下 岳人

大阪大学 大学院高等司法研究科 准教授



京都大学大学院法学研究科博士後期課程修了（博士（法学））
2015年12月に弁護士登録後、アンダーソン・毛利・友常法律事務所、株式会社毎日放送を経て、2025年10月より現職。
著書に『子会社事業の被害者に対する親会社の不法行為責任』（商事法務、2025年3月）他。
企業のコンプライアンス、事業再生、メディア分野の法律問題を中心に研究している。

宇野田 尚哉

大阪大学大学院人文学研究科教授
大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 副拠点長



大阪大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科単位修得退学。博士（文学）。
神戸大学国際文化学部講師、同大学大学院国際文化学研究科准教授、大阪大学大学院文学研究科准教授、同教授を経て、2022年4月より現職。
研究分野は思想史。

懐徳堂

懐徳堂は、享保9年（1724）に、三宅石庵を師と仰ぐ大坂の町人たちによって創建された学問所です。享保11年（1726）には幕府の官許を得て官許学問所懐徳堂となり、18世紀の後半には、西日本の学問的ネットワークの最も重要な結節点となりました。この時期の懐徳堂は、中井竹山・履軒兄弟や、山片蟠桃など、すぐれた学者を輩出しており、今回訪問する懐徳堂旧趾碑はその跡地に建てられています。

懐徳堂は、明治2年（1869）に閉校しましたが、明治末年には復興運動が起こり、大正5年（1916）には財団法人懐徳堂記念会により校舎が再建され、昭和20年（1945）の大阪空襲により焼失するまで、大阪市民が和漢の古典などを学ぶことのできる場として親しまれました。幸いに焼失を免れた蔵書数万点は、昭和24年（1949）の文学部設立を機に大阪大学に寄贈されました。大阪大学は、懐徳堂とその復興を志した人びとの精神を受け継いで、現在に至っています。



適塾

適塾は、蘭方医緒方洪庵（1810-1863）が天保9年（1838）に大坂に開いた蘭学塾です。蘭医学研究の第一人者であった洪庵は、西洋医学の研究をはじめ、種痘事業やコレラ治療などにおいて、医学史上顕著な業績を遺しました。

また、洪庵のもとでは、千人を超える門人たちが、オランダ語の学習を基礎として医学をはじめとする西洋の学問を学び、適塾は、福沢諭吉・大村益次郎・長与専斎・箕作秋坪など、幕末から明治にかけて近代日本の建設に貢献した多くの人物を輩出しました。

明治2年（1869）に洪庵の次男緒方惟準を院長として設立された大阪仮病院、オランダ人医師ボードウィンを迎えて適塾門人を中心に創立された大阪医学校は、のちに大阪帝国大学医学部へと発展し、今日の大阪大学へと至ります。

今回見学する適塾は、現存する唯一の蘭学塾の遺構としても、当時の大坂の町屋の姿を伝えているという点でも、きわめて貴重な建物であり、国の重要文化財に指定されています。昭和17年（1942）に当時的大阪帝国大学に寄付され、現在は大阪大学が管理しています。

